アートとプロジェクトの記録と記憶を語る茶話会——勉強会 vol.1

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 東京藝術大学未来創造継承センター 公開日: 2024-08-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://geidai.repo.nii.ac.jp/records/2000210

アートとプロジェクトの記録と記憶を語る茶話会
――勉強会 vol.1

開催趣旨

ともに考え、なにかを創り、同じ時を過ごす。

現代のアートは、美術や音楽、映像や身体表現の領域が互いに近づき、融合することで、時間を伴うプロジェクト型の表現であふれています。

そのようなアートは「いま、ここ」で体験することが重要ですが、時間や空間が隔てられた人のために、物質的なものとして残らないできごとを、文章や写真、映像によって記録し伝えようとしてきました。

しかし、絵画を画像で、公演を映像で鑑賞することのほうが多くなっている現代において、はたして記録を鑑賞するだけでアートを存分に体験することはできるのでしょうか。また、リアルに体験した人の記憶が語り継がれることで、後に感動や興奮、臨場感が伝わっていくのでしょうか。

「アートワークからアートドキュメンテーションへ」[*] という語に表されるように、現代のアーティストは作品の写真や映像、音源だけにと

* Boris Groys. 2002. Kunst im Zeitalter der Biopolitik: Vom Kunstwerk zur Kunstdokumentation. Documenta 11, Platform 5: Ausstellung, Ostfildern-Ruit: Hatje Cantz, pp.107-113. ボリス・グロイス（著）、石田圭子、齋木克裕、三本松倫代、角尾宣信（訳）『アート・パワー』現代企画室、2017 年

どまらない、活動やできごとを意識的にアーカイヴして社会へと接続することが求められています。

わたしたちは、これからどうやってアートをのこし、伝え、共有していくのでしょう。

そのことを「ともに考え、語らう場」として、この会を開催したいと思います。

報告

アートとプロジェクトの記録と記憶を語ることを目的としているとはいえ、およそ学術や教育とは縁遠い「茶話会」とその名がついた催しは、誰もが気軽に参加できるお祭りのようであり、それ自体がアート・プロジェクトのようであった。セミナーの講師と観客のような、ワークショップの主催者と参加者のような分け隔てをできる限りなくそうとすることが試みられ、誰かが話している途中であっても質問したり、休憩したり、会場への出入りも自由となっていた。

はじめに、会の発起人となるメンバーから、それぞれが活動を行うなかで生成される写真や映像、論考や批評による記録だけではなく、人々が交流するプロセスを共有していくことの重要さと困難さが語られた。また、当事者や同時代の人々以外にも、まだ見ぬ未来へと活動をどのように伝えていくか、時間を超えた記録や記憶のあり方もこれから考察していくようだ。そして、美術家・ファッションデザイナーという立場で

活動している西尾が話題提供者となり、自身のプロジェクトを紹介しながら、集った人々が思い思いに質問や感想を重ねていく。地域の市民から集めた 4000 着の服を解体し、それらを記述し、着用し、撮影しアーカイヴしていった《1000 Coordinates》や、他者と着ている服を交換する《Self-Select》、大阪市西成区の「おばちゃん」とともに立ち上げたファッションブランド《NISHINARI YOSHIO》。何れも装いの行為とコミュニケーションを主題としたプロジェクトである。それらの記録として批評家やキュレーターが捉えきれない活動の痕跡を民族誌的に記述し、また表現として写真や映像、文章を創造していく可能性を述べた。西尾の「表現を着替える」という語から、アーカイヴしていく人や表現、また伝える対象の身体的多様性について議論が展開され、プロジェクトの記録と記憶は、ただひとつの解を目指すものではないことを緩やかに同意しながら、話は次回の茶話会へと持ち越しになった。（平）

日　　時　**2024 年 1 月 15 日（月）15:00-18:00**
場　　所　**東京藝術大学上野キャンパス・国際交流棟 3F コミュニティサロン**
主　　催　**東京藝術大学未来創造継承センター**
メンバー　**服部浩之**（キュレーター／大学院映像研究科メディア映像専攻）
西尾美也（美術家・ファッションデザイナー／美術学部先端芸術表現科）
畑まりあ（アートマネジャー／共創拠点推進機構）
幅谷和眞（リサーチャー／未来創造継承センター）
平諭一郎（研究者／未来創造継承センター）